

●ネパール新年会 正月三日 理事長宅別館で大賑わい



実質的なホスト役の熱田昭子は、おせち料理の他にちらし寿司を10人分ほど、朝からせっせと準備していた。しかし、留学生のお目当ては昭子式「お好み焼き」だという。正午すぎにネパール留学生3人とネパールのお姉さん株の人の4人が到着。早速、おせち料理を別館に運んでもらい、パーティに入った。日本の伝統的な料理としておせち料理をきれいに並べて昭子が説明すると、彼らの手が伸びた。併せて大きな鉢に盛ったちらし寿司もあっという間に空になった。彼らもお寿司を食べ慣れつつあるねと同席した水野事務局長も感心し、彼らの健啖家ぶりに呆れていました。

一段落すると本命？のお好み焼きの準備に入った。レジマさんは昭子のアシスタントを買って出て、キャベツを刻み始め、ホットプレートに3玉分けて流し込み、焼きに入った。焼きの仕上げ段階に入ったところで、ネパールの他の留学生2人が合流された。日本での苦労話が先行して話は続いたが、タイミングの良いところで、お好み焼きができ上がり手元に配られた。間もなく「いろいろなところでお好み焼きを食べているけど、一番おいしい！何か秘訣あるの？」と絶賛された。これを受けて昭子曰く「多分、お好み焼きの一枚が小さくて、空気がよく混ざっているからではないかしら」と、空気論を中心に味覚学を学ぶひとときとなった。最後は積み木ゲームを楽しんで散会した。

●大阪マラソン、ネパールのために若さが走る-----→42.195Km 完走！



琵琶湖毎日マラソンと合併した大阪マラソン 2024 は 2 月 25 日、大阪府庁前から出発して大阪城公園着とするコースで行われた。今回は 24 年パリ・オリンピックの日本代表を選考する対象レースになっているので、トップランナーが基準時間 2 時間 5 分 50 秒をクリアできるかどうか話題になっていた。(結果は6分台に終わった) 一方、参加する市民ランナーの話題として、当法人と協力関係にある公益社団法人アジア協会アジア友の会がチャリティー団体として、13 名の参加者を派遣させたことである。この中に当法人が支援している 3 人のネパール留学生も参加するとあって、朝から小雨降る中、大阪市肥後橋土佐堀川沿いで 9 時 50 分～11 時 15 分ごろまで応援に立った。ここは出発点から約9キロ地点にあり、既に通過した先頭集団の後に市民ランナーが帯のように続いていた。ゼッケンは様々で、万博のキャラクターや工夫したマスクや帽子を被ったりして、年代と生活スタイルを感じさせた。ここは出発点から9キロほどであるが早くも歩行している人もいた。私の隣りで応援している御婦人は「今年は参加者が昨年より多く、4万人ぐらいかしら」と盛況ぶりを喜んでいた。(翌日の新聞では3万人と公表)「ここからランナーに呼びかけるのは難しいですね」と話していたらビスマさんが寄ってきて「アジア協会のサイトはどこですか」と逆に見つけられた。そこには疲れを感じさせないアスリートの顔があった。残念ながら他のお二人とは距離があって、エール交換はできなかった。沿道の応援サイトでは支援団体や商店の幟が目立っていた。